



## 変換の前提条件

- [UCS Manager/Central 構成の変換 \(1 ページ\)](#)

### UCS Manager/Central 構成の変換

IMM 移行ツールで UCS デバイスを追加し、[次へ (Next)] をクリックすると、ユーティリティがバックエンドで実行され、ハードウェア インベントリと構成を検証して、デバイスが IMM と互換性があるかどうかを確認します。

デバイスに接続し、既存の論理属性を複製します。これらには、プロファイル、ポリシー、プール、およびテンプレートが含まれます。

[Intersight へのプッシュ (Push to Intersight)] タスクが正常に完了すると、Intersight アプリケーションは変換されたオブジェクトを更新時に反映します。

#### 換算の前提

IMM 移行ツールでの変換プロセスの前提条件は次のとおりです。

1. **イーサネット ネットワーク制御ポリシー** : Intersight のイーサネット ネットワーク制御ポリシーは、UCS Manager/Central の 2 つの異なる情報ソースを使用して作成できます。
  - サーバー vNIC : UCS Manager/Central のネットワーク制御ポリシーへのマッピング
  - アプライアンス ポート : UCS Manager のアプライアンス ネットワーク制御ポリシーへのマッピング

UCS Manager/Central のネットワーク制御ポリシーを使用して Intersight のイーサネット ネットワーク制御ポリシーを作成する場合、Intersight のイーサネット ネットワーク制御ポリシーの名前は UCS Manager/Central のネットワーク制御ポリシーと同じになります。

UCS Manager のアプライアンス ネットワーク制御ポリシーを使用して Intersight のイーサネット ネットワーク制御ポリシーを作成しているときに、Intersight のイーサネット ネットワーク制御ポリシーの名前は、UCS Manager のネットワーク制御ポリシーの名前に [appliance] というサフィックスが付けられます。

2. **イーサネット ネットワーク グループ ポリシー** : UCS Manager/Central には、同等のイーサネット ネットワーク グループ ポリシーはありません。イーサネット ネットワーク グループ ポリシーの詳細は、VLAN グループから取得できます。各 VLAN グループには VLAN の詳細があり、それらの詳細はイーサネット ネットワーク グループ ポリシーの作成に使用されます。イーサネット ネットワーク グループ ポリシーの名前は、VLAN グループの名前と同じになります。
3. **イーサネット QoS ポリシー** : UCS Manager/Central の QoS ポリシーは、Intersight でイーサネットと FC QoS ポリシーに分割されます。
4. **ファイバチャネル ネットワーク ポリシー** : UCS Manager/Central には同等のファイバチャネル ネットワーク ポリシーはありません。ファイバーチャネル ネットワーク ポリシーの詳細は、サーバー プロファイル (Intersight) の作成中に取得できます。ファイバーチャネル ネットワーク ポリシーの名前は、SAN 接続ポリシーと vHBA の名前に由来します。
5. **ファイバチャネル QoS ポリシー** : UCS Manager/Central の QoS ポリシーは、Intersight でイーサネットと FC QoS ポリシーに分割されます。
6. **IMC アクセス ポリシー** : インバンド ネットワーク設定の IPv4 および IPv6 アドレスの異なる IP プールを持つ UCS Manager/Central のサービスプロファイルの IMC アクセスポリシーの作成は、現在サポートされていません。UCS Manager/Central には、同等の IMC アクセスポリシーはありません。IMC ポリシーの詳細は、サービスプロファイルから取得できます。各サービスプロファイルには、インバンドネットワーク、IPv4 および IPv6 プールがあります。この情報を使用して、IMC アクセスポリシーが作成されます。
  - IMC アクセスポリシーの名前は、インバンド ネットワーク VLAN およびインバンドプールの名前を使用して派生します。名前は、最大 64 文字まで指定できます。
  - UCS Manager/Central では、サービスプロファイルで IPv4 プールと IPv6 プールを選択するための個別のオプションがありますが、Intersight では、IMC アクセスポリシーで IP プールを選択するオプションは 1 つだけです。Intersight で IMC アクセスポリシーを作成する前に、UCS Manager/Central の IPv4 および IPv6 プールを単一のプールにマージすることをお勧めします。しかし、これは実装が複雑です。変換中に、2つの異なる IP プールに属するインバンド IPv4 および IPv6 アドレスを持つサービスプロファイルがある場合、IPv4 固有のプールのみが IMC アクセスポリシーの作成に考慮されます。
7. **IPMI オーバー LAN ポリシー** : Intersight の IPMI オーバー LAN ポリシーは、UCS Manager/Central の IPMI アクセスプロファイルにマッピングされます。IPMI アクセスプロファイルの IPMI ユーザー関連情報は、Intersight のローカルユーザーポリシーに移動されます。
8. **iSCSI ブート ポリシー** : UCS Manager/Central に相当する iSCSI ブートポリシーはありません。iSCSI ブートポリシーの詳細は、サービスプロファイルから取得できます。各サービスプロファイルには、独自の iSCSI vNIC セクションがあります。iSCSI vNIC の詳細は、サービスプロファイルの iSCSI ブートパラメータセクション内にあります。この情報を使用して、iSCSI ブートポリシーが作成されます。

- iSCSI ブート ポリシーの名前は、サービスプロファイルと iSCSI vNIC の名前を使用して派生します。
  - UCS Manager/Central には、iSCSI vNIC ノードおよび個々の iSCSI vNIC の IQN プール/イニシエータ名を提供するオプションがあります。Intersight には、個々の iSCSI vNIC 用のそのようなオプションはありません。Intersight の場合、IQN は LCP レベルにあります (vNIC にはありません)。
  - 通常、UCS Manager/Central には、vNIC 用に 2 つの iSCSI ブート ターゲットを作成するオプションがあり、各ターゲットには独自の CHAP 詳細があります。ただし、Intersight には、iSCSI ターゲットの CHAP 詳細を提供するオプションが 1 つしかありません。
  - CHAP 認証では、ポリシーの作成中にデフォルト パスワードが考慮されます。
9. **iSCSI 静的ターゲットポリシー** : UCS Manager/Central に同等の iSCSI 静的ターゲットポリシーはありません。iSCSI 静的ターゲットポリシーの詳細は、サービスプロファイルから取得できます。各サービスプロファイルには、独自の iSCSI ブートパラメータセクションがあります。これらの iSCSI ブートパラメータを使用して、Intersight で iSCSI 静的ターゲットポリシーが作成されます。単一の iSCSI インターフェイスの場合、優先順位に基づいて複数のターゲットが存在する可能性があります。したがって、iSCSI ターゲット名は、サービスプロファイル名、iSCSI インターフェイス名、および iSCSI ターゲットの優先度の組み合わせとして設計されます。
10. **LAN 接続ポリシー** : UCS Manager/Central では、vNIC を複数の方法で設定できます。
1. **インライン vNIC**
    - スタンドアロン vNIC の使用
    - vNIC テンプレートの使用
  2. **LAN 接続ポリシー**
    - スタンドアロン vNIC の使用
    - vNIC テンプレートの使用
- UCS Manager/Central では、LAN/SAN 接続ポリシー、または vNIC/vHBA テンプレートを使用するかどうかにかかわらず、インライン vNIC/vHBA のいずれかにすることができます。接続を構成する唯一の方法であるため、考えられるすべての組み合わせが考慮され、それに応じて Intersight の LAN/SAN 接続ポリシーに変換されます。
11. **電源ポリシー** : UCS Manager では、グローバルポリシーの電源ポリシーセクションが、Intersight のシャードプロファイルで使用され電源ポリシーとして変換されます。
12. **SD カードポリシー** : UCS Manager/Central に相当する SD カードポリシーはありません。このポリシーは、UCS Manager/Central のローカルディスク構成ポリシーから情報を読み取ることで作成できます。UCS Manager/Central のローカルディスク構成ポリシーで構成された Flexflash がある場合、同等の SD カードポリシーが Intersight で作成されます。

### 13. [ストレージポリシー (Storage Policy)] :

- ストレージプロファイルのローカル LUN での自動展開  
すべての仮想ドライブは、デフォルトで[自動展開 (Auto Deploy)]です。オプションが[no-auto-deploy]に設定されている場合、サービスプロファイルでマップされた VD とストレージポリシー VD は同じ名前にする必要があります。名前が異なる場合は、無効な構成です。
- UCS Manager/Central の LUN セットは、Intersight のシングル ドライブ RAID 構成に相当します。
  - LUN セット内のすべてのディスク スロットを単一の番号のアレイにマージします。
  - すべてのドライブの VD 構成は同一である必要があります。各 LUN セットに異なる VD 構成がある場合は、無効な構成としてフラグを立てます。
- M.2 ドライブの構成
- UCS Manager/Central で[未指定 (Unspecified)]に設定されている LUN サイズは、ExpandToAvail フラグが True に設定されている仮想ドライブに対してのみ使用する必要があります。フラグが False に設定されている場合、それは無効な構成です。
- 特定のストレージプロファイルと汎用ストレージプロファイルを持つ UCS Manager/Central のサービスプロファイルをマージして、Intersight で単一のストレージプロファイルを形成します。

### 14. [VLAN ポリシー (VLAN Policy)] :

Intersight の VLAN ポリシーは、UCS Manager の VLAN セクションにマップされます。UCS Manager では、VLAN の作成中にファブリック ID (A または B、または両方) を選択するオプションがありますが、Intersight では同じ状態ではありません。変換の一環として、ファブリック ID の値が VLAN ポリシーの名前にサフィックスとしてファブリック ID を付加することによって[A]または[B]に設定されている場合、2つの異なる VLAN ポリシーが作成されます。ファブリック ID 値が[両方 (Both)]に設定されている場合、単一の VLAN ポリシーが作成されます。共有タイプをプライマリ/分離/コミュニティとして選択して、プライベート VLAN を作成することもできます。プライマリ VLAN は必須オプションです。指定しない場合、プライベート VLAN の構成はスキップされます。したがって、デフォルトのマルチキャストポリシーで割り当てられた通常の VLAN に変換します。

### 15. [VSAN ポリシー (VSAN Policy)] :

Intersight の VSAN ポリシーは、UCS Manager の VSAN セクションにマッピングされます。UCS Manager では、VSAN の作成中にファブリック ID (A または B、または両方) を選択するオプションがありますが、Intersight では同じ状態ではありません。変換の一環として、ファブリック ID の値が VSAN ポリシーの名前にサフィックスとしてファブリック ID を付加することによって[A]または[B]に設定されている場合、2つの異なる

VSAN ポリシーが作成されます。ファブリック ID 値が [両方 (Both)] に設定されている場合、単一の VSAN ポリシーが作成されます。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。